仁敬だより

JINKEI DAYORI

仁厚会・敬仁会合同広報誌
2020年1月1日発行

2020 新春号

発行：社会医療法人 仁厚会
〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地
TEL(0858)26-1012
社会福祉法人 敬仁会
〒682-0023 鳥取県倉吉市山根55番地
TEL(0858)26-3864
https://www.med-wel.jp/

2019年度 法人理念

〈仁厚会〉主役はいつも患者さん

〈敬仁会〉❶ テンダー ラビング ケア tender loving care
「愛」とは、誰かの心に希望の灯りをともすことです
自分に何ができるかをまず考えることです
（日野原重明著 テンダーラブより）

❷ スローライフ
丁寧に考えること　誠実に対応すること

初日の出（湖山池）

CONTENTS

P2-3 新年のご挨拶
P4 第２回「よどえグッドフェスティバル」開催
ゆりはま105感謝祭
P5 医師の明瞭解説
藤井政雄記念病院附属歯科クリニック　藤　大補医師
P6 認知症への取り組み紹介
P7-9 News Topic
JIN'Sキッチン
P10 仁厚会・敬仁会　10大ニュース
P11 ～バリ島から倉吉の地へ～ルー・カルニタさん倉吉病院へ入職
仁厚会敬仁会退職者の会日帰り旅行開催
Photo Report
P12 健康レシピ
義援金寄付報告

FIT FOR HEART

新年のご挨拶

「新年のご挨拶」

理事長　藤井　一博

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお喜び申しあげます。平素より皆様にお支え頂き、今日まで仁厚会・敬仁会両法人が恙なく運営されておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、２０２０年を迎えました。今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。思い返せば、オリンピックの東京開催が決定したのは２０１３年。招致最終プレゼンテーションでの滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」スピーチのインパクトも相まって、日本中が歓喜に包まれました。私も喜びながら、呑気にも「でも、まだ7年も先の事だな」と思ったのを覚えています。

気が付けば、もうオリンピック。今更ながら時の流れの早さを実感しているところです。

最近、SDGs（エスディージーズ）という言葉をよく耳にするようになりました。Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、国連サミットで採択された、持続可能な社会をつくるための国際社会共通の目標とされています。止まるところを知らない環境破壊、繰り返される紛争、広がる格差、様々な難題に直面し、人類社会のSustainability が危機に瀕しているという思いが世界の共通認識になっているのだと思います。

このSDGsの中では、17のゴールが掲げられていて、その3番目のゴールに「すべての人に健康と福祉を」と力強く謳われています。

「地域の皆様の健康と福祉を守り続ける」という気持ちは、医療福祉に従事する私達が最も大切にしていることの一つであり、日々の仕事に邁進することが、国際社会の共通目標に資するということに誇らしさを感じました。

「地域の皆様の生活を守り続けたい」という信念を持続可能なものにするためには、抽象的になりますけれども、患者様、利用者様、地域の皆様、職員の皆様、仁厚会・敬仁会に関わる全ての皆様が笑顔で過ごせるようでなければならないと思っています。

理想を追求するためには、漫然と座して待っても事はなりませんから、十二支の子のように先頭に立ち、フットワーク軽く動きまわって参りたいと思います。

今年一年、どうぞ宜しくお願い致します。

新年挨拶

医療福祉センター 倉吉病院

院長 田中　潔

新年あけましておめでとうございます。

ところで、現代社会は、日本人の5人に1人が睡眠障害で悩んでいるといわれています。

私自身も倉吉に赴任した昭和57年より睡眠障害に悩まされ、その当時より入眠導入剤を服用していました。私が服用していた薬剤は、ベンゾ系という従来型の睡眠薬で、脳全体を鎮静させて眠りをもたらす作用があり、大量服薬しても生命の危険はありませんが、ふらつき、依存症、健忘などに問題があるといわれています。ところが数年前より睡眠薬の適正使用が強く警告され、私もそれに啓発され、昨年38年服用していた睡眠薬を辞めることに成功しました。

もともと睡眠には規則的なリズムがあり、毎日ほぼ同じ時刻に眠り、同じ時期に目覚めます。体を休めるレム睡眠と、大脳を休めるノンレム睡眠とが約90分周期で変動し、覚醒に向けて準備を整えています。

さらに近年睡眠と覚醒メカニズムを理解するうえで、睡眠中枢と体内時計という2つの考え方があります。睡眠と覚醒がシーソーでせめぎ合っているという理論で、この理論に基づいて新しい眠剤の1つのオレキシン受容体拮抗薬（ベルソムラ）は、そのシーソーで覚醒の応援をやめさせることで眠くなります。またメラトニン受容体作動薬（ロゼレム）は体内時計に働きかけ、睡眠を調整する作用があります。これらの眠剤は従来薬と比して、ふらつき、依存性はほとんど問題なくなり、従来薬より安全性は高くなっています。

ここでは睡眠衛生の説明をする余裕はありませんが、この睡眠衛生を実施する事で、服薬することなく、睡眠を確保する事により、健康的な生活が維持できます。従って、新しいタイプの眠剤でもこれらの薬剤に頼る事は出来るだけ避けた方が良いといわれています。

今年もよろしくお願い申し上げます。

新年の御挨拶

藤井政雄記念病院

院長 引田　亨

明けましておめでとうございます。昨年五月から令和元年となりました。幸せな時代になると思っていましたが、東北・関東・長野など台風に見舞われたくさんの家屋・人命が失われました。被害にあわれた方々にお見舞い・お悔やみ申し上げる次第です。当院では星野映治先生が逝去され、またご親族・ご親戚の亡くなられた方もありました。心よりお悔やみ申し上げます。

昨年は猪年で猛進の年になると思っていましたが、期待した程の前進は少なかったように思います。ラグビーのW杯が日本で開催されましたがラグビーの知識もなく、ルールを知ろうとアクセスしましたら170万件以上のアクセスがあり、私と同じ思いの人がいるのを知って安心しました。ラグビーはチーム一丸となり、反則をせず、〝前へ前へ〟ボールを進めゴールするものと理解しました。我が病院について見ますと十分な戦力が足りず皆様方には多大なご負担をかけたと思います。今年も診療報酬が変わりますが皆様方の変わらぬお力添えを追風に少しでも当院が前へ進めるよう充実した年になることを期待する次第です。本年も皆様方のご健勝・ご多幸をお祈りし、年初のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

米子東病院

院長 石飛　和幸

明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年五月には年号が令和に変わり、五月の即位礼、十一月の大嘗祭を経て新天皇皇后の御世となりました。九月にはラグビーワールドカップが開催され、日本チームの活躍には、日本中が湧きかえりました。ワンチームというスローガンは流行語となりました。

私どもの職場においても、職員たちは一丸となって懸命に取り組んでいます。皆が協力して目標に向かって着実に進んで行こうというワンチーム、自分たちの病院として働くプライドかもしれません。

厚労省の二〇一六年の調査では六十歳以上の高齢者が担う「老老介護」の割合は高齢者世帯の半数に上り（六百六十二万六千世帯）、年々増加傾向にあります。

それに伴って様々な問題が発生しています。

私どもの病院も疾病予防、介護予防、フレイル対策、認知症予防など地域共生社会の実現に向けて、一層の取り組みを推進していきたいと思います。

一人一人それぞれの持ち場をしっかりと支えさらに発展させて行きましょう。美しい大山を望み、大きく息を吸い込んで、この一年健康で頑張りましょう。

介護の業務にプラスαを

敬仁会

副理事長 深田　忠次

新年を迎え、お慶び申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。

本年は2020東京オリンピックが開催されます。日本の人々は世界各国から訪れる選手や観戦客に細やかで丁寧な「おもてなし」で歓迎することでしょう。

ところで昨年は、消費税の値上げがありました。国民は生活に厳しい工夫を強いられています。医療や高齢者介護支援におきましても、個人負担の加重もみられ、増税の前と同じサービス水準では受益者の人達の不満が募っていくかもしれません。我々は新たな思案をして、質的・量的に今まで以上のサービスを提供する姿勢をとらなければならないと思います。

周知のように仁厚会と敬仁会の法人理念に、「主役はいつも患者さん」があります。介護老人保健施設の業務・運営においても、日本人の美徳の「おもてなし」と法人理念の「主役はいつも患者（施設利用者）さん」を基本にして、高齢者の医療と生活介護業務の内容を更に充実させて、一歩一歩進めて参りたいと願っております。

本年もどうぞ変わらないご指導とご鞭撻をお願いいたします。

第2回「よどえグッドフェスティバル」開催！

米子東病院　石飛院長の挨拶

今年は、心配された天候も荒れることなく、10月26日（土）に開催した第２回「よどえグッドフェスティバル」に、昨年を上回る約700名の来場者をお迎えすることができました。

昨年と同様に職員による屋台に加え、仁厚会・敬仁会の青年部による屋台や業者の出店が賑やかさを増してくださいました。また、今年は自衛隊や消防署のご協力により防災ブースを設けることができました。相次ぐ広域災害もあり、地域の防災を考える一助になったのではと思います。屋内のイベントも簡単健康チェック、アートワーク体験やミニ講演会など充実しており、来場者の皆様には喜んでいただけたものと思います。

このフェスティバルを通して、地域の皆様とより良い関係が築いていけるよう今後も努めてまいります。

最後になりましたが、地域の皆さま、ご来賓の方々、ご協力をいただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

オープニング（がいな太鼓）

ゴスペルオーヴのみなさん

防災の意識を高める、防災ブース

臨床美術体験コーナー

ゆりはま105感謝祭（トーゴー） ～地域と福祉のふれあい～

聴覚障がい者のコミュニケーションツール「要約筆記」

11月17日（日）、「ゆりはま105感謝祭」を開催しました。心配された天候も当日は快晴に恵まれ約400名のお客様にご来場頂きました。

このイベントは、毎年「地域と福祉のふれあい」を目的とし、地元の福祉団体「地域と福祉を育てる会」主催によりゆりはま大平園にて開催しております。

ステージアトラクションでは太鼓・チアリーディング・ダンス等で盛り上がり、体験コーナー・屋台コーナーにも長蛇の列ができるなど、大変賑わいのあるイベントとなりました。

パラリンピック正式種目である「ボッチャ」

来場者で賑わいを見せる会場内

医師の明瞭解説

「歯の疼痛において」

藤井政雄記念病院附属歯科クリニック
藤　大補 歯科医師が
わかりやすく解説

藤井政雄記念病院
附属歯科クリニック
藤　大補 歯科医師

皆さんは、歯に痛みを感じた事がありますか？歯に痛みを感じた場合は、おおよそ虫歯が原因と考えると思います。しかし虫歯のみが痛みを起こすわけではありません。

歯肉炎・粘膜疾患・外傷・根尖性歯周炎・急性歯周炎等様々です。

全てを話し始めるとこの用紙の中には収まりきらない為、一部は割愛して述べさせていただきます。

歯の疼痛において一番多いのは、歯肉炎・歯髄炎・歯周炎です。

割合的には、歯肉炎6割　歯髄炎2割　歯周炎2割です。

順次説明していきます。

■歯肉炎について

歯肉炎とは、歯の周りの歯茎が炎症を起こしている事です。主に清掃不良にて発生します。

解決方法としては、まず歯茎の汚れをしっかり落とすことが必須です。

それによって時間経過で治癒していきます。

ご自身の清掃では、不十分もしくは、磨き残しがあるので、しっかりチェックすることが肝要と考えます。

■歯髄炎について

歯髄炎とは、歯の神経に炎症が波及したことを言います。

虫歯であったり、応力によって歯にダメージがかかったからであったり、歯髄内に菌が侵入したからと多岐に及びます。

解決方法には、炎症原因を取り除く事・さらに歯髄の炎症が非可逆的であれば神経の除去が必要です。

これには、歯科医院での加療が必要です。放置した場合は、一時痛みが治まるかもしれませんが、次に説明する歯周炎と呼ばれる状態に移行します。

■歯周炎について

歯周炎とは、歯の周りの歯茎との境目部分に炎症が発生することです。辺縁性と根尖性の2つに分けられます。つまりは、歯の周りか歯の根の先端かのどちらかです。

辺縁性歯周炎は、俗に言う歯周病です。炎症にて歯の周りの骨が吸収するために、歯が動揺し骨と付着していないが為に抜け落ちてしまいます。

根尖性歯周炎は、歯の根の先端に細菌が集まり、感染・炎症を起こす事で歯が浮いた感じや疼痛を引き起こす物です。

この根尖性歯周炎が一般の方には分かりにくいかもしれません。これの要因としては、歯の神経が元あった部分の管に細菌が侵入することで起きます。それは、以前行った歯の根の治療が不十分だったり、根にひびが入っていたり、歯の根の管が凄く複雑で綺麗にし切れていなかったり、種々様々な理由があります。

歯周炎は、どの段階にあるかは歯科医院でレントゲン撮影をしなければ判明しません。

まず疑わしければしっかり歯科医院で精査を受けることが肝要です。

さてこれまで分類分けされた各歯の痛みについて述べてきました。

現代は昔と違い、メディアで報道されているおかげで口腔内保清において各個人が充実してきました。

しかし、まだまだ口腔内保清において電動歯ブラシさえ使ったらOKといった偏った考えがあります。そしてメディアでの過剰報道にて過剰な期待を抱いたり、現状を把握出来ていない人が多数いらっしゃいます。確かに歯科医院に行ったり、通院したりするのは面倒ですし、怖さ・痛みがあります。しかし他ならないあなたの体なので、自分の口腔内に責任を取って現状の口腔内の把握・改善する場合の方法を模索し続けてください。そうすれば、現状での諦めや気づいていなかった事を発見し、改善出来るかもしれません。ぜひ歯科医院で自分の口腔内に気づいてください。それが私の切なる願いとし、結語とします。

出身大学
福岡歯科大学

専門及び対象疾患
歯科口腔外科

学会認定医師資格
口腔外科認定医

所属学会
口腔外科学会、口腔感染症学会、口腔科学会、日本臨床歯科学会

コメント
この度、3度目の藤井政雄記念病院に入職させていただくことになりました。
地域の口腔外科に貢献できるよう頑張らせていただきます。
どうぞよろしくお願い申しあげます。

認知症への取り組み紹介

RUNTOMO 鳥取開催
～ご声援ありがとうございました～

倉吉病院

令和元年10月19日～ 20日、RUNTOMO 鳥取が開催されました。RUNTOMO（らんとも）とは、認知症の人や家族、地域住民、医療福祉関係者等が少しずつリレーをしながらタスキをつないでいくイベントです。10月19日に開催された倉吉コースでは、小雨の中でしたが、どのチームも笑顔で楽しみながら歩き、タスキをつなぎました。今後も誰もが暮らしやすい地域づくりの一環となるような活動を行っていきたいと思います。

倉吉市　鳥の杜前にて

実践編で DVD 視聴される参加者

マグ café 発　ホップ！ステップ！ジャンプ！
「認知症を学ぶ！」講座を開催

マグノリア・倉吉病院

マグノリアではマグ café（認知症カフェ）を毎月開催しておりますが、地域の方に更に認知症のことを学んでいただく場として「認知症を学ぶ！」講座を開催しました。９月30日の基本編では倉吉病院認知症疾患医療センター長 前田和久医師の講演で病気の理解を深め、10月28日の対応編では寸劇や事例を通して対応の実際を学び、11月18日の実践編ではサンテリオン、ソラリオン、マグノリアでの施設実践でしめくくり、多数の方にご参加いただきました。今回できたつながりを大切に、更に学びを深めるような活動に取り組んでいきたいと思います。

北条小学校で認知症の理解をサポート

ル・サンテリオン北条

11月25日（月）北条小学校で認知症サポーター養成講座が開かれ、ル・サンテリオン北条の職員３名が助言者として参加しました。認知症の方に対して「私達に何ができるのか」をテーマにグループワークが行われ、児童と一緒に意見を出し合い、理解を深めました。

紙芝居で認知症の理解を深める

皆さんで輪になって認知症予防ゲーム♪

鹿野（まち）カフェ３周年を迎えて

ル・サンテリオン鹿野

鹿野（まち）カフェ（認知症カフェ）は、10月29日に３周年を迎えました。鳥取西地域包括支援センターと共催にて、毎月第４火曜日（10時～ 11時30分）、鹿野（まち）地区保健センターで開催しています。

鹿野（まち）カフェは、参加者が主体になり、認知症予防ゲーム、味噌作り等々…季節を感じながら、リラックスして過ごせる場所となっています。様々な専門職による介護相談が可能です。この３年で地域のなかで身近にある安心できる場所、頼りになる存在となってきています。今年度は、鹿野（まち）地区だけではなく、勝谷地区、小鷲河地区に「出張！鹿野（まち）カフェ」として、地域に出ていく試みをしています。地域の皆様に支えられ、今後も『認知症になっても暮らしやすい町』を目指し地域貢献活動を行っていきます。

鳥取大学医学部より実習生受入～地域医療体験実習～

藤井政雄記念病院

10月、藤井政雄記念病院では地域医療体験実習として鳥取大学医学部より12名の医学生の受入を行いました。

実習では地域包括ケアの概要と中部地区での当院の役割、ラウンド・カンファレンスを通じ多職種による連携を学び、また、医療は病院・診療所だけでは完結せず福祉や介護の現場との円滑な協力が必要なことを理解していただきました。

地域医療体験実習

InBody導入！

米子東病院

InBodyは、体を構成する基本成分である体水分、タンパク質、ミネラル、体脂肪、筋肉量を定量的に分析し、栄養状態に問題がないか、体がむくんでいないか、身体の筋肉はバランスよくついているかなど、人体成分の過不足を評価する検査機器です。米子東病院では、リハビリによりどの程度、筋肉量や脂肪量が変化したかを評価し患者さんと経過の共有を行っていきます。

新しく導入されたInBody

手足に取り付けて測定します

『音を感じる、音と繋がる、音で繋がる』～心の耳をすませて～

あやせババール園

10月17日、25日の2日間、子どもの発達に合わせた子ども自身の育つ力や、他者とのコミュニケーションが生まれる『豊かな音楽活動』を行いました。

当日は地域のお友だちも参加し、東京芸術大学の先生方による素敵なハープ演奏や歌を聴きました。子ども達はうっとりしたり、身体を左右に揺らしたりと音に自然と吸い込まれいく姿が見られました。

園では就学までに育って欲しい姿として10のねらいがあり、その1つに「豊かな感性と表現」があります。本物の体験が子どもの豊かな感性を育て、子どもが主体の表現活動へ展開しています。今後も様々な体験を通じて、子ども達が心豊かに育つよう、活動に取り組んでいきたいと思います。

オーシャンドラムに触れる子どもたち

地域社会活動への取り組み～山根地区住民との交流会～

ル・ソラリオン

10月21日（月）に地域における福祉ニーズを把握し、施設機能を活用した地域社会活動に取り組むことを目的として、山根地区より住民15名の方をお招きし、交流会を行いました。

施設見学、施設長より施設概要説明、栄養士よりソラリオンの食事についてお話しさせていただいた後、昼食を召し上がっていただきました。

皆様から施設利用についてのご質問や、食事についてのご意見などを頂戴することができました。様々なご意見を今後の地域貢献活動に活かしていきたいと思います。

施設見学の様子

住み慣れた地域で暮らしていくための「移動手段」確保に向けて

ル・サンテリオン北条

急速な高齢化により外出手段を持たない方が増加しています。公共交通の乗車場所までの移動も困難な状況に加え、荷物を持ち、さらに天候が悪いなどの条件下では外出をあきらめてしまうことも少なくありません。ル・サンテリオン北条では、地元自治会や北栄町、北栄町社協と協力し『公用車の空き時間を利用した共助交通システム』を構築すべく実証実験を行っています。９月から検討を始め、11月に１回目の試験運行を実施。実用化に向けた最終検討を重ねています。今後も資源を有効活用し、社会に貢献し続ける法人を目指してまいります。

祝 ル・ソラリオン名和　開設20周年

ル・ソラリオン名和は、介護保険制度がスタートした２０００年(平成12年)に大山町西坪(旧名和町)にオープンし、今年で20周年を迎えました。

11月20日に「開設20周年記念式典」を行い、大山町小谷副町長をはじめ、普段お世話になっているボランティア様、歴代の施設長等をお迎えし、節目を皆でお祝いしました。

式典後は「近池教室」の皆さまによる踊りの披露や茶話会が催され、お祝いの日に花を添えていただきした。

～ご利用者代表　松田さんのことば～

平成12年10月12日、鳥取県西部地震の時期に現在は施設長となっておられます石川課長(現ル・サンテリオン施設長)が迎えに来てくださったことが今でも思い出されます。

西伯病院からここにきて20年が経ちました。20年間関わってくださったスタッフの方々にはたいへんお世話になり感謝しております。おかげさまで脳梗塞の再発もなく、元気に過ごすことができています。

これからもよろしくお願いいたします。

ご利用者を代表して感謝の気持ちを伝えられました。

和やかなひとときを楽しみました。

会長代行と新旧施設長で昔を懐かしみました。

～20年間の歴史～

H12　施設開設
H14　鳥取県西部地震
H16　ISO9001を法人で先駆けて取得
H17　短期入所棟（ごだいご）増設
H22　大山町誕生（大山町、名和町、中山町）
H26　年末年始に記録的大雪
H29　臨床美術スタート
全国老人福祉施設研究会議
奨励賞受賞『ココロヨロコブアート』

接遇を振り返るきっかけに

敬仁会苦情解決委員会

12月6日(金)に敬仁会苦情解決委員会が開催されました。第三者委員の方々よりいただいた貴重なご意見の一部をご紹介いたします。

■苦情内容別件数

職員の接遇等	34	施設・設備等	4
サービスの質や量等	7	その他	7
説明・情報提供等	6	合　計	64
被害・損害等	6		

・苦情は自らの接遇を見直すきっかけとなる大事なもの。
・ご利用者、園児を中心に家族、保護者等周りにかかわってもらうことが大切です。
・苦情は、勘違いから起きる場合があるため双方からの聞き取りをしましょう。
・苦情に対して早急な対応と関係者との報・連・相を行うことを心掛けて。
・お褒めの言葉が増えている、これは施設長を中心に施設が努力している結果です。
・苦情に対して法人全体で対応することが大切。
・苦情が起こる背景・理由を理解しましょう。

災害時に役立つ真空調理『パッククッキング』

ガーデンハウスはまむら

災害時にライフラインが途絶えてしまった場合を想定し、職員の料理講習会を行いました。

ポリ袋に食材を入れ真空状態でお湯につけるこの調理法(パッククッキング)は、冷蔵庫の食材を無駄なく使用でき、一つの鍋でできるので節水にもなります。また個別の食事(粥、軟飯等)にも対応でき、主食からデザートまで多種多様な食事を、災害時にも提供することができます。

ひとつの鍋で同時調理

第１回 ３園合同職員交流会
ババール園・よどえババール園・上井保育園

10月20日（日）北条オートキャンプ場にて「保育所３園合同職員交流会」を初めて開催しました。職員25名、子ども10名と子どもの参加も多く、にぎやかで楽しい会となりました。

まず初めにレクリエーションとして、飴玉を使ったゲームを行い、場が和んだところで待ちに待ったバーベキュー。みんなで青空のもと美味しいお肉をたくさんいただきました。

北条オートキャンプ場にて記念撮影

職員の交流・親睦を深め、今後は合同研修会など情報の共有や職員のスキルアップにも繋げていきたいと思います。

職員旅行（栃木県・埼玉コース）
～東京地区職員日帰り旅行に行ってきました～

11月７日（木）さわやかな秋晴れの日、東京地区職員日帰りバス旅行に出かけました。大人の社会科見学と銘打たれたコースは、大谷石の地下採掘場「大谷資料館」と日本でも珍しい洞窟を利用した「島崎酒造洞窟酒蔵」の石窟や、地下神殿と呼ばれ、私たちの住むエリアを洪水から守っていくれている「首都圏外郭放水路」をめぐる旅でした。

首都圏外郭放水路

まずそのスケールの大きさに驚き、内部の美しさに魅せられ、何より人の力の偉大さに感動させられた一日でした。

仁厚会の「食」を支える職員をクローズアップ

JIN'S キッチン Vol.18

今回は倉吉病院におじゃましました。

咀嚼嚥下困難食の知識・調理技術向上への取り組み
～1日でも長く口から食べてほしい 栄養士・調理師の願いを込めて～

―前回号で紹介した藤井政雄記念病院と今回の倉吉病院は、1つの厨房で2つの病院の食事を提供されているそうですね

はい。そうです。1日1,000食の食事を提供しています。その中でも以前から力を入れて取り組んでいるのが、『咀嚼嚥下困難食』です。

―え？そしゃくえんげこんなんしょく？前回号であった「きざみ食」のことですか？

「きざみ食」もその1つです。噛むことが難しい方（咀嚼困難）、飲み込むことが難しい方（嚥下困難）に合わせた食形態に取り組んでいます。

以前は噛みにくい方のために、常食を小さく刻んで提供していました。でも、こんにゃくやごぼうなどは小さく刻んでも噛み難いし、パサパサしたりボロボロしたり、返って食べにくくなっていました。また、飲み込むことが難しい方へは、料理をミキサーにかけてペースト状にした「ペースト食」のみを提供していました。これでは口に入れてから飲み込むまでに時間がかかる方は口の中に食べ物が残りやすく、それが誤嚥性肺炎の原因にもなっていました。

伝達講習の様子
－みんな真剣－

食形態別に色分けした食札で一目瞭然

―具体的にはどんなことに取り組まれてきたのですか

まずは、食形態別の献立を増やし、それぞれにあった内容に変更しました。

1日に30種類の献立を作成しています。咀嚼嚥下困難食については、言語聴覚士の指導を受けながら、食材の変更やトロミの有無と濃度調整、調理法や切り方などの工夫を重ねて、「ムース食」を追加し、「きざみ食」「超きざみ食」を改善しました。

昨年は、調理師が院外研修に参加後、学んできたことを実際に調理し、試食を含めた伝達講習を行いました。安全で食べやすいだけでなく、見た目にも常食と似ているように盛り付けたり、彩りに配慮したりと少しでも食欲がわくように工夫しています。

最近では、咀嚼を促せるように「一口大」も追加しました。患者さんのなかには「常食」では大きすぎるし、「きざみ食」は箸で食べにくく噛むことが少なくなるため、咀嚼機能を低下させてしまうという意見があったためです。実際にいろんな料理を何パターンもの大きさに切って、スプーンですくったり、箸でつまんだり、食べてみて大きさを決めました。

―現在の食形態になるまで多くの取り組みをされていたんですね

入院中の患者さんにとって食事は、治療でもあって楽しみでもあります。その食事が苦痛になってはいけない、多くの方に笑顔になってもらえる食事にしたいという思いでやってきました。そして、1日でも長く口から食べてもらえるように、個々の噛む力や飲み込む力に合わせた食事提供ができる病院を目指して頑張ります。

30種類の献立内容を確認

2019年　仁厚会・敬仁会　10大ニュース

1	**医局新体制へ** ◆医局新体制 倉吉病院副院長に松村博史医師が就任（４月）。米子東病院院長に石飛和幸医師（１月）。副院長に武田二郎医師が就任（５月）
2	**初の外国人材受け入れ、社内環境のグローバル化開始** ◆インドネシア出身介護・看護人材確保 ル・ソラリオン葛飾、ル・ソラリオン綾瀬で介護留学生を５名、倉吉病院で准看護師を１名採用。２月にル・サンテリオン北条に介護福祉士１名内定済み。日本で医療福祉の専門職を目指す外国人材を支援していく ◆インドネシア訪問による人材確保ルート構築 介護留学生養成機関の視察と関係づくり、採用内定者２名との面接、留学・就労希望者との採用面接を実施。令和２年４月時点で鳥取施設４名、東京施設８名採用予定 ◆鳥取県内教育機関との連携 鳥取県内での介護人材養成スキーム確立のため、外部講師を東京より招聘。法人・鳥取社会福祉専門学校・外部講師を交えた打合せを実施。鳥取城北日本語学校と連携することにより、インドネシア人材確保と別に、ベトナム人材確保ルートを調整中
3	**働き方改革へ対応、働きやすい職場づくりへの取り組み強化** ◆福利厚生の充実 福利厚生の手引き作成。今後は毎年事業計画時に配布。積立有給休暇制度、復職支援短時間勤務制度の創設。職員優待制度の充実。賠償保険の見直しにより、医療従事専門職個人の責任も補償対象へ拡大。事業部厨房職員の制服リニューアル（3月）。事業所内学童保育「もりのみくらぶ」の利用を敬仁会職員にも拡大し、定員も増員 ◆職員処遇の見直し 調理員雇用形態（鳥取）、年間公休数（東京）、駐車場補助手当・オンコール手当（東京）、賃金水準・各種手当 ◆利用者等による職員へのパワハラ・セクハラ予防 職員へのパワハラ・セクハラは許さないという法人の姿勢を、掲示や重要事項説明書等でも明確化し発信 ◆施設休憩スペースの見直し
4	**ICT・AI等技術を取り入れ、業務の効率化及び職員の負担軽減推進** ◆ケアツール導入推進委員会を発足（4月）し、両法人横断的にデモや製品情報の共有を図った アミボイス、ほのぼの、画像システム（PACS）の更新、見守りセンサー「眠りスキャン」、ケアデータコネクト、見守りベッドセンサーシステム、PayPay、郵便計器、給与明細電子化、経理事務一部自動化システムの導入実施。スマートフォンと連動したケアサポートシステム、医療介護情報連携システムの導入検討中
5	**湯梨浜町地域密着型サービス　グループホームはなみ（仮称）整備事業着手** 湯梨浜町「地域密着型サービス事業者」公募に応募し、敬仁会が事業主に選定される。「生涯活躍のまち計画」開発予定地に建設することで、町が推進する「住民が生涯にわたって安心して充実した生活を送ることが出来る場所」の整備や、今後高まる介護ニーズに応えることができると考える。開設は令和２年７月予定
6	**敬仁会・仁厚会の連携強化** ◆各種検討委員会・プロジェクト立ち上げ 医師等働き方改革推進会議、介護人材等確保委員会、本部感染制御室、就労系サービス検討委員会。保育園安全対策会議、厨房職員連携会議を両法人合同開催とした ◆第３回医療福祉学会を倉吉未来中心で大々的に開催。同時開催の「とっとり・ちゅうぶ医療福祉機器展2019」は地域の方にも開放（３月） ◆両法人互助会主催『第１回職員合同ソフトバレーボール大会』を開催、総勢160名が参加 ◆ババール園・よどえババール園・上井保育園の３園合同交流会を実施、職員同士の交流を深める ◆両法人での人材交流の推進 管理職や専門職の人材交流を実施。今後も対象職種を広げていく。倉吉病院から運動療法士をババール園に派遣し、園児の体力づくりのためのメニューを月２回実施（10月）。米子東病院からよなご大平園へ看護師を派遣（11月） ◆両法人で課題に取り組む体制 初の期中監事監査（10月）では、両法人の監事による意見交換会も実施。合同60周年記念誌を発行予定、事業計画の合同検討も進めている ◆採用活動の充実 看護パンフレット作成、介護人材確保委員会（鳥取部会）の立ち上げ、採用窓口の一本化、奨学金制度も拡充予定
7	**職員教育の充実** ◆専門性を広げるため、看護・リハビリ等の教育的な異動交流を実施 ◆両法人合同で幹部養成研修を実施 リーダー層を対象とした経営研修（９月）、新任役職者研修（10月） ◆学習環境整備の一環としてe-ラーニング導入し（４月）、Wi-Fi整備中
8	**想定外を想定して** ◆水防法の改正や、地震や大雨被害等火災以外の災害にも備えた訓練を強化し、回数や想定内容についても見直しを行った。また、誤報による学びもあり、教育訓練強化対応中 ◆両法人での災害対策本部の設置を準備中 ◆安否確認システムの導入検討（一部試験的に運用開始） ◆各施設でも災害対策を展開 倉吉病院　災害拠点精神科病院の検討 ル・サンテリオン鹿野　初めての合同避難訓練の実施。鳥取市、地域との連携を強化 ガーデンハウスはまむら　グループホーム代表の利用者と職員が初めて地域の防災訓練に参加 在宅センター　グループホームにて洪水を想定した防災教室、避難訓練の実施 よなご大平園　グループホームやまとと合同での水害を想定した訓練を実施 あやせババール　初の園外保護者引き渡し訓練の実施
9	**地域とのふれあい、地域への貢献** ◆第２回よどえグッドフェステバル開催（10月）、700名の来場 ◆えんくるり事業『第１回 子育て応援リユース事業』をふれあいはあとまつりにて中部圏域の７法人が協同して実施 ◆ル・サンテリオン北条にて、車の運転ができない地域高齢者のための「共助交通移動支援サービス」の実施・事業化を検討 ◆ル・ソラリオン名和開設20周年式典開催 ◆各施設も積極的に地域貢献活動を展開 倉吉病院　福祉保健局と協力し、アルコール依存症の家族教室開始（９月）。精神科認定看護師によるリエゾン活動もPRに力を入れ、実施件数大幅増 ル・サンテリオンよどえ　よどえ夢まつりに参加し、認知症診断テスト体験ブースを設置 マグノリア　職員のグッドアイデアから「地域貢献活動を積極的に行おう！」と上井公園の清掃作業にボランティアとして参加 ル・ソラリオン　地域の高齢者グループとの交流、地域包括センターが行う事業への専門職の派遣に取り組んだ ル・ソラリオン名和　名和小学校と連携し、これから社会を支えていく子供たちに介護に関心をもってもらうための介護教育強化 ル・ソラリオン西新井　地域の介護教室や活動グループ、子育てサロンなどに施設を開放、地域住民の憩いの場となる。新たな取り組みとして、第三団地自治会の花壇整備に参加し、住民と一緒に作業を行う ル・サンテリオン　地域（西福守）のサロンへ出向き、認知症・転倒予防について講義を実施。親子介護体験教室を実施、小学３～６年生の親子９組19名が介護の仕事について学ぶ
10	**特色を生かした事業所運** ◆藤井政雄記念病院　乳腺エコー運用開始　◆米子東病院　Inbody10導入しサルコペニア・フレイルに関する取り組み継続（10月） ◆ル・サンテリオン鹿野　訪問リハビリ事業開始（６月）　◆ガーデンハウスよどえ　第３回となる夕涼み会を開催 ◆大和保育園　初めて田植え体験を実施　◆ル・ソラリオン　提供する食事形態数の変更とソフト食の導入により、利用者の満足度の向上と職員業務負担軽減に！ ◆ル・ソラリオン葛飾　葛飾区「仕事と企業の魅力発信プロジェクト」において「葛飾区の魅力ある企業」に選定される ◆ル・サンテリオン東郷　事業所ごとに他施設見学を実施！職員の意識改革、ケアの質向上を目指す ◆あやせババール園　令和元年度あだちっ子・いい歯推進園で『優秀賞』を受賞　◆よどえババール園　調理実習第２弾として『朝ごはん作り講習会』を開催 ◆上井保育園　敬仁会館で椎茸収穫を体験　◆シルバー倉吉　昨年試みた実演調理がご利用者に好評で今年は更に充実！ ◆ゆりはま大平園　永年製造している陶芸製品『大平焼』が評価され、鳥取県及び北栄町から大量受注 ◆敬仁会館　あしたば麺工房の新商品開発プロジェクトにより鳥取県産小麦や琴浦産出汁を使用した地産商品「大山うどん美神」完成

仁厚会敬仁会退職者の会
駄菓子＆乳酸菌＆異国情緒でもっと健康に！
岡山日帰り旅行開催

11月８日、退職者の会にて岡山日帰り旅行を開催し、第３回となる今回は24名に参加いただきました。

当日は日本一の駄菓子売場で買い物後、ヤクルト工場を見学。午後は岡山農業公園ドイツの森で名物のソーセージを含むバイキングに舌鼓を打ち、広大な園内で散策や買い物を満喫されました。

退職者の会は会員同士の交流、両法人の健全運営への協力依頼を目的に設立されました。今後も親睦を深め、地域に根ざした事業運営に繋がるよう活動を盛り上げます。

岡山和気ヤクルト工場にて記念撮影

～バリ島から倉吉の地へ～
ルー・カルニタさん倉吉病院へ入職

令和元年11月１日より、ルー・カルニタさん（インドネシア・バリ島出身・准看護師）が倉吉病院の認知症治療病棟へ入職されました。

ルーさんは東京や大阪で病院勤務をされていましたが、縁があり鳥取の地に来られることになりました。明るい人柄のうえ日本語が大変流暢ですので、まるで以前から一緒に働いていたかのような感覚になります。生活環境も変わり、大変多忙な毎日を送られているルーさんを、皆様のご理解やご協力をいただきながら応援していきたいと思います。

食事介助中のルーさん

Photo Report

宿泊型自立訓練事業所あずさ
青空の下でグラウンドゴルフを行いました

職員合同運動会
白熱した勝負に応援も盛り上がりました!

互助会合同スポーツ大会
日ごろの運動不足を解消!

ル・サンテリオン北条
スタート前に記念撮影（北栄町駅伝大会）

健康レシピ

栄養士が心と体に
おいしいレシピを紹介します!

おいしくタンパク質摂取

洋風茶碗蒸し

材料(4人分)

- 卵……2個
- 牛乳……200ml
- お湯……150ml
- 固形コンソメ……1個
- 薄口しょうゆ……小さじ2

<具材>

- ブロッコリー……2～3房
- 玉ねぎ……20g
- 人参……20g
- ハム……2枚
- 大豆水煮……50g

【作り方】

❶お湯に固形コンソメを溶かし、冷ましておく。

❷ブロッコリー・玉ねぎ・人参・ハムはみじん切りにする。野菜は耐熱容器に入れ、ラップをしてレンジで1分程度加熱して冷ましておく。

❸卵をボウルに入れて溶きほぐし、コンソメスープ・牛乳・薄口しょうゆを加え、目の細かいザルなどで濾す。❷で冷ました野菜とハムを卵液に入れる。

❹茶碗蒸しの容器に水煮大豆を4等分にして入れ、❸の卵液を注いでラップをかける。

❺フライパンに器を並べ、熱湯を淵から器の半分くらいの高さまで注ぐ。蓋をして弱火で13～15分加熱して出来上がり。

具材はお好みの野菜やキノコなどに変えても美味しいです。

タンパク質・カルシウムも補給

高齢になると、噛む力の衰えや唾液の分泌が減少して、硬い物やパサパサした物は食べにくくなります。また、筋力の維持などにも欠かせない「タンパク質（肉・魚・卵・牛乳など）」は摂取量が少なくなる傾向にあります。

茶碗蒸しは、滑らかな食感で食べやすい食形態であり、通常は「出し汁」のみで作りますが、今回は牛乳を加えてタンパク質やカルシウムも補給できるようにしました。

子どもから高齢者まで、幅広く美味しく食べて頂けると思いますので、どうぞお試しください。

今回のレシピ担当
ル・サンテリオンよどえ
管理栄養士／中田恵理子

台風19号に係る義援金を寄付させていただきました

この度の台風19号で被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます
当法人では被災された方々を支援するため、職員有志から義援金を募り、日本赤十字社を通して 500,500 円を寄付させていただきました。被災地の一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

社会医療法人 仁厚会 〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43 TEL.0858-26-1012

病院機能評価認定

医療福祉センター倉吉病院 TEL.0858-26-1011
藤井政雄記念病院 TEL.0858-26-2111
米子東病院 TEL.0859-56-5232

ISO9001取得(JSA)

藤井政雄記念病院 TEL.0858-26-2111

ISO9001取得(JMAQA)

ル・サンテリオン北条 TEL.0858-36-5220
ル・サンテリオン鹿野 TEL.0857-84-3700
ガーデンハウスはまむら TEL.0857-82-6500
ル・サンテリオンよどえ TEL.0859-56-4073
ガーデンハウスよどえ TEL.0859-56-5210
在宅医療福祉センター TEL.0858-26-2346
法人事業部セントラルキッチンアーク TEL.0858-26-1517

藤井政雄記念病院附属歯科クリニック TEL.0858-26-4276
大和保育園 TEL.0859-56-2203

仁厚会・敬仁会
ホームページ QR コード

社会福祉法人 敬仁会 〒682-0023 鳥取県倉吉市山根55 TEL(0858)26-3864㈹

ISO9001取得(JICQA)

地域ケアセンター マグノリア TEL(0858)26-3922
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン TEL(0858)26-0115
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン名和 TEL(0859)54-6500
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン葛飾 TEL(03)3601-3711
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン西新井 TEL(03)3899-3005
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン綾瀬 TEL(03)5613-1176
介護老人保健施設 ル・サンテリオン TEL(0858)26-3051
介護老人保健施設 ル・サンテリオン東郷 TEL(0858)32-2570
障がい者支援施設 敬仁会館 TEL(0858)26-0480
救護施設 ゆりはま大平園 TEL(0858)32-0780
救護施設 よなご大平園 TEL(0859)56-6226
保育所 ババール園 TEL(0858)26-0211
保育所 あやせババール園 TEL(03)5613-8851
保育所 よどえババール園 TEL(0859)56-5268
養護老人ホーム シルバー倉吉 TEL(0858)26-0821
保育所(指定管理) 上井保育園 TEL(0858)26-0868